



Ensamble Lara Somos

ベネズエラ文化週間 2017 in とよはし
平成 29 年度豊橋文化祭協賛行事



アンサンブル ララ・ソモス

音楽の喜び、聴かせたい。

世界最大の音楽教室“エル・システム”から生まれた感動のアンサンブル

2017 **10/25**(水)18:30 開演 (18:00 開場)
穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール

入場料 1,500 円 (全自由席) ※発売開始 8月 20 日

チケット取扱い ■ プラットチケットセンター 0532-39-3090 (10:00~19:00 休館日を除く)

<http://toyohashi-at.jp> (24 時間受付・要事前登録)

■ 豊橋市国際交流協会 ■ オリエント楽器豊橋店 ■ ほの国百貨店 6F プレイガイド

主催／エンテリコ・ベネズエラ 共催／駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館

後援／豊橋市・(公財) 豊橋市国際交流協会・(公財) 豊橋文化振興財団

問合せ／エンテリコ・ベネズエラ 事務局 s_sato@mx1.tees.ne.jp (佐藤)

※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。



Gobierno
Bolivariano
de Venezuela

Ensamble Lara Somos アンサンブル ララ・ソモス



ペレリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者兼芸術監督であるサイモン・ラトルを始め、歌手のアンドレア・ボチェッリやブラシド・ドミンゴ、ヴァイオリニストのイツァーク・バールマンなど世界的に著名な芸術家・音楽家たちから彼らの演奏に対して、その才能を絶賛されるなど、国内外で大きな賞賛を得ています。

これまでに、オーストリアのザルツブルク音楽祭（2013年8月）、2015年イタリア・ミラノ万博の一環として開催された記念コンサートなどで公演。なお、エル・システムから8楽団が招聘されたザルツブルク音楽祭では、ホワイト・ハンド・コラスと共に出演し、同音楽祭の歴史的な出来事として記憶されるコンサートとなり、大成功を収めました。

エル・システムとは

ホセ・アントニオ・アブレウ博士の提唱により1975年ベネズエラから始まった音楽による無償の青少年育成プログラム。

青少年は、集団での音楽活動を通じてコミュニケーション能力を高め、社会規範と自己の個性の表現を両立することを学ぶ。



《これまでの プエンテリコ・ベネズエラ主催 ベネズエラ文化週間 in とよはし コンサート》

アンサンブル・グルフィーオ リカルド・サンドバル	■2007年11月9日 豊橋市民文化会館ホール
レオナル・ハコメ&クエルダス・バホ・プレシオン マルコ・グラナドス&ウン・ムンド・アンサンブル	■2008年10月24日 豊橋駅前文化ホール
カラカス・シンクロニカ シモン・ボリバル弦楽四重奏団	■2009年11月19日 豊橋市民文化会館リハーサル室
トリオ・アルデマーロ・ロメーロ チエオ&ダビッド・ウルタード デュオ	■2010年11月6日 豊橋駅前文化ホール
	■2011年11月14日 豊橋市民文化会館ホール
	■2012年10月13日 豊橋市民文化会館ホール
	■2014年11月6日 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール
	■2016年11月13日 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール



豊橋駅（JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道）、新豊橋駅（豊橋鉄道渥美線）直結。豊橋駅南口から徒歩3分。
※駐車場はございません。公共交通機関やお近くの公共駐車場等をご利用下さい。豊橋駅前大通公共駐車場（第1・第2）・パーク500をご利用の場合、駐車料金が30分150円から30分100円に割引（上限4時間）になります。

プエンテリコ・ベネズエラ（スペイン語で Puente 「橋」 Rico 「豊かな」 = 豊橋）は、2005年の「愛・地球博 一市町村一国フレンドシップ事業」における豊橋市のフレンドシップ相手国のひとつでしたベネズエラ・ボリバル共和国との交流を万博終了後も継承するため、2006年11月に発足した市民交流団体です。

このコンサートは、音楽を通じて、ベネズエラ・日本両国の交流が深まり、絆が一層強まることを願い、駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館主催による「エル・システム・フェスティバル 2017」（10/21-22 東京芸術劇場）の一環として、同大使館の全面協力のもとにプエンテリコ・ベネズエラが豊橋の皆様にお届けします。